

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパーク衣笠		
○保護者評価実施期間	2025年 3月13日		～ 2025年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 3月13日		～ 2025年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが通所を楽しみにしている。有酸素運動や、職員・他児との関わりの中で楽しく遊ぶことでストレスが下がり、学校生活を送る活力となっている。	運動量が確保できるように、子どもの興味あるところから有酸素運動につなげている。また、就学児は他児との関わりを楽しむことができる子どもも増えているので、なるべく年齢の近い子どものシェアを組んでいる。	パートタイム職員への教育を充実させる。
2	経験豊富な児発管が保護者の不安や悩みに寄り添うことができる。	定期的な面談以外でも、困りごとや悩み事がある場合は随時相談に乗れるように、コミュニケーションを取っていくことを心掛けている。	保護者間交流イベントやスパーク協会のイベントのお知らせなどをこまめに行っていく。
3	個別療育を提供することによって、きめ細かく子どもをみることができ、効果的に発達を促すことができる。	一対一で子どもに寄り添い、深くかかわる事により信頼関係を構築している。	療育技術を高めるとともに、パート職員への教育を充実させる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中学年～高学年の児童には室内が狭い場合がある。	もともと、未就学児の利用者が多い想定だったため、その基準で物件を選定している。	動画プログラムなどを活用し、発達段階に応じた、きめ細かい支援内容を展開していく。
2	パート職員への教育体制が整備されていない。	他の業務より優先できていない。 パート職員へ伝えるべき内容が体系化されていない。	今後は外部研修の参加を促すとともにこまめに情報伝達をしていく。
3	職員数が必要最低限であるため、急な病欠などの対応が難しい。	求人してもなかなか応募がない。また求職者と求人条件のミスマッチが多く、なかなか採用に繋がらない。	引き続き複数の媒体を利用しながら求人していく。